



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 戸田工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4100 URL <https://www.todakogyo.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）久保 恒晃
問合せ先責任者 （役職名）経営企画室長 （氏名）友川 淳 TEL 082-577-0055
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	14,309	△1.4	599	—	18	—	△108	—
2025年3月期中間期	14,508	14.5	△267	—	△266	—	△879	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △368百万円（—％） 2025年3月期中間期 613百万円（△65.9％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△18.71	—
2025年3月期中間期	△152.24	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	49,235	11,417	21.7
2025年3月期	50,672	11,777	21.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 10,679百万円 2025年3月期 11,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△10.0	1,000	—	△300	—	△700	—	△121.08

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2. 業績予想の修正については、本日（2025年11月11日）公表いたしました「営業外費用の計上及び2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	6,099,192株	2025年3月期	6,099,192株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	317,972株	2025年3月期	317,912株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	5,781,259株	2025年3月期中間期	5,778,990株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、2025年12月2日に当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用情勢・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続、中国における内需の低迷、米国の通商政策の影響による世界経済の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、2030年度（2031年3月期）のありたい姿や2024年度（2025年3月期）から2026年度（2027年3月期）までの3ヶ年を実行期間とする中期経営計画「Vision2026」で掲げたKPIの達成に向けて、選択と集中を加速させ、さらなる事業ポートフォリオマネジメントの強化を推し進めております。事業ポートフォリオマネジメントにおいて成長事業と位置付けている磁石材料及び誘電体材料はさらなる事業拡大を図っております。磁石材料の主な用途は自動車のモータやセンサであり、自動車部品の小型化・軽量化ニーズによる需要拡大に対応するため、経営資源を投入しております。また、誘電体材料の主な用途は自動車やICT機器等に搭載される積層セラミックコンデンサであり、さらなる小型化、高容量化が求められております。当社は独自の微粒子合成技術による150nm以下に特化した製品の開発及び製造を進めていることに加え、お客様に乾燥前の微粒子をご提供することで、高品質かつ微粒子分散の手間の軽減を実現可能とする分散体を提供することも目指しております。再生・転換事業と位置付けている着色材料やトナー用材料は、製品の価格は正活動や原価低減及び諸経費削減等の合理化活動を推し進めております。次世代事業と位置付けている環境関連材料においては、CO₂分離回収材料等の環境負荷低減に貢献する新素材の開発を進め、早期事業化を目指し、経営資源を重点的に投入しております。

こうした状況のもと、Vision2026の2年目となる当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は14,309百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は599百万円（前年同期は営業損失267百万円）、経常利益は18百万円（前年同期は経常損失266百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は108百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失879百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

（機能性顔料）

売上高は前年同期比0.9%増の3,999百万円となりました。セグメント利益は、原価低減及び諸経費削減に加え、製品の価格は正活動等の効果により前年同期比62.2%増の710百万円となりました。

（電子素材）

誘電体材料の需要は好調に推移し、前年同期に比べ大きく伸長いたしました。一方、磁石材料や軟磁性材料は自動車市場における新車販売台数の減少や中国における同業他社との競争激化により苦戦いたしました。また、Vision2026にて再生・転換事業と位置付けているハイドロタルサイト事業の協業活動を解消した影響もあり、売上高は前年同期比2.2%減の10,565百万円となりました。利益面においては、原価低減及び販管費削減に加え、解散及び清算することを決定した戸田アドバンストマテリアルズInc.においても費用の減少や在庫の販売により、前年同期に比べ業績が改善しております。以上のことから、セグメント利益は前年同期比66.5%増の1,285百万円となりました。

営業外収支においては、着色材料や磁石材料の製造を営んでいる持分法適用関連会社の収益は好調に推移しているものの、LIB用材料の製造を営んでいる持分法適用関連会社の収益がEV需要の低迷により減少したことにより、持分法による投資損失を計上いたしました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産は49,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,437百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が558百万円、投資有価証券が972百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が695百万円、商品及び製品が487百万円、流動資産のその他が456百万円、関係会社出資金が1,103百万円減少したこと等によります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は37,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,076百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が303百万円、流動負債のその他が778百万円減少したこと等によります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は11,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ360百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が661百万円増加したものの、親会社株主に帰属する中間純損失108百万円の計上、為替換算調整勘定が865百万円減少したこと等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年11月11日）公表いたしました「営業外費用の計上及び2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,078	7,946
受取手形及び売掛金	8,295	7,600
商品及び製品	4,130	3,643
仕掛品	2,001	1,929
原材料及び貯蔵品	1,853	2,059
その他	1,469	1,013
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	25,807	24,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,848	1,861
機械装置及び運搬具（純額）	1,636	1,832
土地	5,529	5,527
建設仮勘定	989	1,252
その他（純額）	461	549
有形固定資産合計	10,465	11,023
無形固定資産		
のれん	2,708	2,329
その他	55	193
無形固定資産合計	2,763	2,523
投資その他の資産		
投資有価証券	3,374	4,346
関係会社出資金	7,572	6,469
その他	691	702
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	11,634	11,515
固定資産合計	24,864	25,062
資産合計	50,672	49,235

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,364	3,061
短期借入金	8,428	9,023
1年内返済予定の長期借入金	4,796	4,709
未払法人税等	138	121
賞与引当金	275	226
関係会社整理損失引当金	955	799
その他	2,219	1,441
流動負債合計	20,179	19,382
固定負債		
長期借入金	14,540	13,992
退職給付に係る負債	2,268	2,306
その他	1,905	2,137
固定負債合計	18,715	18,436
負債合計	38,894	37,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	4,297	4,297
利益剰余金	△3,988	△4,096
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	6,357	6,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	2,136
為替換算調整勘定	2,785	1,920
退職給付に係る調整累計額	394	372
その他の包括利益累計額合計	4,655	4,429
新株予約権	114	121
非支配株主持分	650	616
純資産合計	11,777	11,417
負債純資産合計	50,672	49,235

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	14,508	14,309
売上原価	11,540	10,759
売上総利益	2,967	3,550
販売費及び一般管理費		
従業員給料	697	632
賞与引当金繰入額	95	93
退職給付費用	60	50
研究開発費	761	686
その他	1,619	1,487
販売費及び一般管理費合計	3,234	2,950
営業利益又は営業損失(△)	△267	599
営業外収益		
受取利息	41	26
受取配当金	38	39
持分法による投資利益	187	—
為替差益	—	111
その他	68	91
営業外収益合計	336	269
営業外費用		
支払利息	229	212
為替差損	86	—
持分法による投資損失	—	628
その他	19	8
営業外費用合計	335	850
経常利益又は経常損失(△)	△266	18
特別利益		
固定資産処分益	3	0
保険解約返戻金	—	3
受取補償金	33	—
特別利益合計	36	3
特別損失		
固定資産処分損	4	4
環境対策引当金繰入額	—	3
減損損失	309	—
その他	—	0
特別損失合計	313	9
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△544	13
法人税、住民税及び事業税	208	230
法人税等調整額	101	△116
法人税等合計	309	114
中間純損失(△)	△854	△100
非支配株主に帰属する中間純利益	25	7
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△879	△108

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△854	△100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315	660
為替換算調整勘定	884	△664
退職給付に係る調整額	△60	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	328	△242
その他の包括利益合計	1,467	△267
中間包括利益	613	△368
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	518	△333
非支配株主に係る中間包括利益	94	△34

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	3,955	10,552	14,508	-	14,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	253	262	△262	-
計	3,963	10,806	14,770	△262	14,508
セグメント利益 又は損失(△)	437	771	1,209	△1,476	△267

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,476百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,476百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

「機能性顔料」「電子素材」及び各報告セグメントに帰属しない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては「機能性顔料」で182百万円、「電子素材」で38百万円、各報告セグメントに帰属しない全社資産で88百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	3,987	10,321	14,309	-	14,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	243	255	△255	-
計	3,999	10,565	14,565	△255	14,309
セグメント利益	710	1,285	1,995	△1,395	599

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,395百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。